

表1 猪串湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和4年8月17日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コクロディニウム
						sp.	ミキモトイ	アカシオ	ホリクリコイテス
1. 森崎	10:02	0	26.7	33.24	7.8	0	3	1	0
		2	25.4	33.35	7.1	0	0	1	0
		5	24.6	33.70	6.8	0	0	0	0
		10	23.5	33.80	6.3	0	158	10	0
		14.7	23.0	28.10	4.8	0	0	0	0
2. 越田尾	9:56	0	28.2	33.25	7.6	0	1	0	0
		8	23.7	33.79	6.8	1	0	0	0
3. 猪串						欠測			
4. 鵜の糞						欠測			
5. 小蒲江	9:46	0	27.3	33.58	6.9	0	0	0	0
		5	24.9	33.59	7.2	0	0	0	0
6. 屋形島	9:42	0	26.621	33.706	6.314	0	0	0	0
		11	23.444	33.836	6.522	0	127	0	0
7. 赤バエ						欠測			
8. 蒲江赤灯台			***	***	***	0	0	0	0
			***	***	***	0	0	0	0
9. 丸市尾			***	***	***	0	0	0	0
			***	***	***	0	0	0	0
10. みごの浦	9:36	0	27.737	33.51	7.252	4	0	0	0
		4	25.898	33.685	7.184	1	1	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※8,9は南部振興局採水

参考: 赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイテス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アラビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項

有害プランクトンのシャットネラsp.、カレニア・ミキモトイとヘテロシグマ・アカシオが確認されています。

魚介類の管理にくれぐれもご注意ください。

